

5 本時の学習指導

(1) ねらい

仲間の意見を聞いて、本当の「思いやり」について自分なりの意見を考える。(B6 思いやり、感謝)

(2) 『本時』における学びをたのしむ生徒の姿について

本時における「学ぶたのしさ」とは、仲間の意見を聞き、自らの考えを深めることにありと考える。本学級の生徒は、これまでの道徳や学校行事等を通して協力する力が育まれている。学級で一つのことを成し遂げる力がある集団だからこそ、関わり合いを軸とした授業を展開できれば、「学ぶたのしさ」を実感しながらねらいに迫ることができると考える。

そこで、本時ではまず、ヤコブや私の心情を追いながら、「登場人物の〇〇の行動が素晴らしい」「この行動は自分だったらしないかな」など、ヤコブの行動の是非に対する、自分なりの考えをもたせたい。その上で、話し合い活動を設定し、他者と関わり合いながら自分の考えを広めたり、深めたりする姿を引き出したい。最後に、振り返り活動を通して、これからの生活の中で仲間を思いやろうとする心情の深まりを期待したい。

(3) 本時の学習展開

生徒が思考し続けるための 教師の意図的な働きかけ 手だて②	予想する生徒の姿	手だての有効性はどうかであったか (生徒の姿の実際・改善点など)
1 ヤコブの話聞いていた時の「私」の気持ちについて場面ごとに考え、発表する。 ヤコブの行動に注目させ、ヤコブの「やさしさ」や「人間の弱さ」を感じられるよう、構造的な板書を行う。	やさしさ なんて優しい人だろう。みんなにとっての希望だ。 人間の弱さ 冷たい人だ。ひどい。ヤコブ嫌い。残念。	
2 カーテンの向こうを見たときの「私」の気持ちについて考える。 主人公である「私」の気持ちをより深く感じることができるよう、実際にカーテンを用意し、開けながら範読する活動を設定する。	自分に対して - 外が見えると思っていたのに。 - 残念だな。 ヤコブに対して - ヤコブの嘘つき。 - ヤコブごめん。 未来に向けて - 伝えるべきなのかな。 - どうしたらいいのだろう。	
3 ヤコブの行動が妥当かどうか考え、自分の考えを発表する。 視覚的に仲間の意見がとらえられるよう、心の数直線を用いてヤコブの行動について考える。 深く行動の是非について考えられるよう、賛成の意見(②)に対しては「みんなが幸せなのか」問い返す。反対の意見(①)に対しては「理由」を尋ねた上で、「みんなが幸せになるためにはどう行動したらよいか」問い返す。	①反対 嘘についてまで隠す必要はあるのかな。 ②賛成 みんなに伝えようと希望を奪ってしまうから言わなくて正解。 ①②を揺さぶった上で… - 嘘を続ける。・真実を伝える。 - 壁を壊す。・壁に絵を描く。	
成長や課題を認識し、次の学びにつなげる「振り返り」の活用 手だて③		
4 振り返りを書く。 友達の意見と比較し、新たな考えに気付いたり、より深めたりするために、振り返りの視点を【③友達と話し合っ感じたこと】に設定する。	③友達と話し合っ感じたことははじめはヤコブの行動はよくないと思っていたが、友達の意見を聞いて、周りを幸せにすることが本当の思いやりなのではないかと思いました。	

(4) 評価

仲間の意見を聞いて、本当の「思いやり」について自分なりの意見を持ち、深めることができたか、授業の様子やワークシートから判断する。